

教育研究業績

芸術学部芸術学科音楽領域

氏名	伊藤(杉田)孝子		職名	准教授
教育活動	[学部] 音楽ケアデザインワークショップ1, 音楽ケアデザインワークショップ5, 音楽ケアデザインワークショップ6, 音楽ケアデザイン各論1, 音楽ケアデザイン各論3, 音楽療法1, 音楽療法研究指導, 音楽心理学, 音楽療法概論, 芸術基礎研究, 音楽療法特殊研究4 [大学院]			
学位	平成8年3月 学士(教育学)(広島大学) 平成10年3月 修士(教育学)(広島大学大学院)			
学歴	平成8年3月 広島大学教育学部音楽教育学 卒業 平成10年3月 広島大学大学院博士課程前期教育学研究科音楽教育学 修了 平成13年3月 広島大学大学院博士課程後期生物圏科学研究科 退学			
職歴	平成13年4月 岐阜県音楽療法研究所 研究員(平成14年3月まで) 平成14年4月 名古屋芸術大学音楽学部 講師(平成24年3月まで) 平成24年4月 名古屋芸術大学音楽学部 准教授(平成29年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科音楽領域 准教授(現在に至る)			
専門分野	音楽療法 音楽心理学			
研究課題	音楽療法において重要視されている対象者への「共感」が持つ独自性と問題点について研究を行っている。また、2014年から毎年ノルウェーの音楽療法の現地視察を行い、その実践と理論(主にコミュニティ音楽療法)を自身の活動に照らし合わせることで、今後の実践の新たな展開を検討している。			
	[論文] ・「臨床の設定における即興演奏体験—健常学生を対象とした試み(その2・非音楽専攻学生)」(共著)日本音楽療法学会誌8(2)(平成20年12月) ・「臨床即興の継続と活動に対する満足感が心理的・生理的反応に与える影響」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第30巻(平成21年3月) ・「音楽療法における共感に関する一考察」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第34巻(平成25年3月) ・「トム・ネスの音楽療法に関する一考察—ノルウェー国立音楽大学における授業観察を中心に—」(共著)福島大学総合教育研究センター紀要第17巻(平成26年7月) ・「ノルウェーのコミュニティ音楽療法に関する一考察—スティーゲ氏へのインタビュー, 及びオラヴィケン病院への訪問調査を通して—」(共著)福島大学総合教育研究センター紀要第19巻(平成27年7月) ・「【翻訳】聴取可能なジェスチャー: 臨床即興からコミュニティ音楽療法へ <トム・ネス, エヴェン・ルード著>」(共訳)福島大学地域創造第27巻(第2号)(平成28年2月) ・「ラグナロックのミュージックライフストーリーの翻訳」(共著)名古屋芸術大学研究紀要37巻(平成28年3月) ・「ノルウェーの音楽療法におけるPOLYFONプロジェクト —ブリュンユルフ・スティーゲ氏へのインタビュー調査を中心に」(共著)福島大学地域創造 第28巻(第2号)(平成29年2月) ・「音楽療法における共感とは何か — 音楽療法士に対するアンケート調査の検討 —」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第39巻(平成30年3月)			
	[学会発表] ・「悲しみの段階における音楽聴取行動についての検討」(共同)第10回日本音楽療法学会学術大会(平成21年9月) ・「How does a music therapist decide when to use improvisational techniques?」(共同)第13回世界音楽療法大会(平成23年11月)			

- ・「自閉症A児の音楽療法セッションにおける共同注意行動の変化」(共同) 第14回日本音楽療法学会学術大会(平成26年9月)
- ・「知的障害を伴う統合失調症者A氏に対する音楽的变化への気づきを促した音楽療法」(共同) 第14回日本音楽療法学会学術大会(平成26年9月)
- ・「自閉症児の反復演奏に対する音楽療法士の捉え方の転換について～転機となった臨床即興プログラムの行動分析を通して～」(共同) アートミーツケア学会2015年度大会(平成27年11月)
- ・「音楽療法における共感とは何か～音楽療法士に対するアンケート調査の検討～」(共同) 第16回日本音楽療法学会(平成28年9月18日)
- ・「ノルウェーにおけるコミュニティ音楽療法の動向」(共同) 日本音楽教育学会(平成29年9月22日)
- ・自主シンポジウム「ノルウェーの音楽療法から考える、日本のコミュニティにおける音楽療法の展望」(＜企画・司会・話題提供者＞伊藤孝子 <話題提供＞杉田政夫・柴田朋子 <指定討論＞青木真理・三宅博子) 第18回日本音楽療法学会(平成30年9月15日)

[講演・講座]

- ・「子どもを対象とした音楽療法における音・音楽の使い方」第9回日本音楽療法学会中国支部大会(平成21年5月)
- ・オープンカレッジin飛騨2015「芸術と癒し」:音楽療法(平成27年10月11日)
- ・「音楽療法・音楽ケアの立場から」岩倉総合高校教職員メンタルヘルス講座(平成28年5月20日)
- ・オープンカレッジin飛騨『芸術と癒しⅡ』:音楽療法(平成28年10月11日)
- ・「子どもとの音楽遊び」清須市児童館指導員研修講座(平成28年11月10日)
- ・「音楽療法ワークショップ」福島大学総合教育研究センター 学術講演会(平成29年3月9日)
- ・「音楽療法について」傾聴ボランティア講座(平成29年7月23日)
- ・「”あいた”をつなぐ音・音楽～ノルウェー実践の模擬体験も交えて～」MT地域実践講習会 第4回特別支援教育・療育と音楽療法的アプローチ(平成29年8月11日)
- ・「つながりを創出する音楽ケア・音楽療法 第1回:音楽療法の現在、第2回:各分野での音楽療法の実際、第3回:音楽療法体験ワークショップ」 平成29年度名古屋市大学連携講座(平成30年1月25日、2月8日、2月22日)
- ・「音楽遊び」北名古屋市保育士全体研修会(平成30年8月2日)

所属学会 団体等	日本音楽療法学会,日本心理学会,日本感情心理学会,アートミーツケア学会
社会的活動	日本音楽療法学会評議員
その他	特になし